

令和元年度

ちよっといい話

清流の国ぎふ

日々の生活の中で、ほんの少し相手のことを思ってたかた」「言葉や行動」に、まわりの空気が温かくなったという経験はありませんか。また、あなたがいらなかったとき、苦しかったとき「かかけられた」「言葉」行動」が励みになった経験はありませんか。

このちがちな身のまわりで経験した心温まる出来事を「ちがったこと話」として、令和元年5月17日から9月11日まで募集したところ、小学校40校、中学校14校、高等学校3校、特別支援学校2校で取り組みいただきました。般の方からの応募も含め2609作品を寄せいただきました。

- 正直、誠実、責任、勇気
- 友情、信頼、献身
- 克己、忍耐、努力
- 思いやり、絆
- 尊敬、感謝
- 家族愛
- 命の尊厳

といった思いが込められています。

そうした中から、80作品を紹介させていただきます。

人を思いやる心や人と人とのつながりを感じていただいて、県民一人ひとりが共に育ち命の輝きを分かち合える機会となれば幸いです。

※ 岐阜県立総合教育センター・岐阜県立特別支援学校・岐阜県立特別支援学校・岐阜県立特別支援学校・岐阜県立特別支援学校

## 【おへい】

### 【小学生】

- 1 ハートわがし
- 2 おもちゃのじいじ
- 3 いみひろこ
- 4 あじがとりのじいじ
- 5 えがお
- 6 やさしい人ひと
- 7 おばあちゃんのカレー
- 8 わたしとおじいさん
- 9 おとうとのたんじょう日ひ
- 10 妹は私のおじいさんあなご
- 11 おばあちゃんのおまはりのじいじ
- 12 温かい妹あたたかい妹!!

おばあちゃんが作ってくれた服

妹の話

ぼくのお父さん

「大丈夫？」のまほじ

ぼくの見つけたすごい人

ドライブ

やさしく声をかけてもらった。

次につかう人のことを考えた自分

ぼくでも出来る事

たん生日のプレゼント

おばあちゃんの右手になったわたし

気持ちに「ありがとう」

視覚障害の方へのやさしさ

わたしの家族

すずめの巣があったんだね

・  
・  
13

・  
・  
14

・  
・  
15

・  
・  
16

・  
・  
17

・  
・  
18

・  
・  
19

・  
・  
20

・  
・  
21

・  
・  
22

・  
・  
23

・  
・  
24

・  
・  
25

・  
・  
26

・  
・  
27



アゲハチヨウの命 <small>あげはちゆうのいのち</small>	28
あいさつっていいね	29
おはか参り <small>おはかまじり</small>	30
ローソンの「 <small>エル</small>	31
ヒントをくれた兄 <small>あに</small>	32
放送が聞こえない！ <small>ほうそうがきこえない！</small>	33
教室での「おかえり」&「ただいま」 <small>きょうしつでの「おかえり」と「ただいま」</small>	34
一つぶのありがたみ <small>ひとつぶのありがたみ</small>	35
わたしのやさしい家族 <small>わたしのやさしいかぞく</small>	36
小学六年生のヒーロー <small>しょうがくねんせいのかーりー</small>	37
お父さんありがとう <small>おとうさんありがとう</small>	38
勇気を出した行動 <small>ゆうきをだしたこうどう</small>	39
地域として大切なこと <small>ちいきとして大切なこと</small>	40
仲間の応援が自分をしゅくり、自分を育てる <small>なかまのおうえんが自分をしゅくり、自分をそだてる</small>	41
勇気を出せば <small>ゆうきをだせば</small>	42

友達  
ともだち

・  
・  
43

優しい心  
やさしいこころ

・  
・  
44

その一言を思い出して前向きな私に  
そのいちごころをおもいだしてまえむきなわたし

・  
・  
45

時間よりも大切な事  
じかんよりもたいせつなこと

・  
・  
46

幸せになった野良猫 はな  
しあわせになつたのらねこ はな

・  
・  
47

看護師さん、ありがとう  
かんしゅさん、ありがとう

・  
・  
48

小学校生活最後のピアノの発表会  
しょうがくせいのかつごうのひあのひょうひかい

・  
・  
49

待っていてくれる仲間  
まちていてくれるなかま

・  
・  
50

## [中学生]

あいさとなす

・  
・  
51

元気をくれる言葉  
げんきをくれることば

・  
・  
52

利用する人の気持ちを考えて！  
りようするひとのきもちをかんがえて！

・  
・  
53

失敗した時こそ笑顔で…  
しはいしたときこそえがおで…

・  
・  
54

何気ない気遣い  
なにげなきづかい

・  
・  
55

頑張ります  
がんばります

誰かのために  
だれのために

弟の一言  
あいのひとこと

涙の意味  
なみだの意味

見守ってくれる人  
みまもってくれるひと

電車で  
でんしゃで

ちよつとした心遣い  
ちよつとしたこころづかい

## 「高校生」

ひいおばあちゃんの笑顔  
ひいおばあちゃんのエガオ

日本一のチーム  
にっぽんいちのチーむ

いつもの帰り道  
いつものかえりみち

やわらかい連鎖  
やわらかいれんさ

いつか

受験生  
じゆけいせい

・  
・  
66

・  
・  
67

・  
・  
68

・  
・  
69

・  
・  
60

・  
・  
61

・  
・  
62

・  
・  
63

・  
・  
64

・  
・  
65

・  
・  
66

・  
・  
67

・  
・  
68

気付けた優しさ

・  
・  
69

半分に切られたハンバーガー

・  
・  
70

学校帰りの出来事

・  
・  
71

ちよつと良い日

・  
・  
72

思いやりの心も世界共通

・  
・  
73

お父さんのお弁当

・  
・  
74

嬉しい、美味しい、ありがとう

・  
・  
75

あいちっで伝える

・  
・  
76

おばあちゃん

・  
・  
77

## 【一般】

雨のホームで

・  
・  
78

じちゃんけんぐー

・  
・  
79

ある朝の出来事

・  
・  
80

## 小学生編

ハートわがこ

「はまゆりのもりのハートわがこ」や  
いろいろな本ほんを読みました。ちまゆり  
のあしはハートわがこを読んでるこ  
うはなご。

じぶんでもながしてみると、はっぱが  
おちているし、ふんせんかすらのたねも  
ハートもやう。

このまえがっこうのかえりにいるんで  
おおきなすりきずができた。ちがでてい  
たかったけど、きずがハートのかたちを  
していました。

なごいよひのうたを、  
ちまゆりいわしくなった。  
ママとミッキーかなっ  
てわらった。



## 小学生編

お母さんお父さん

なすお母さん、かみくみさん、せき  
じょうじょうじょうじょうじょうじょうじょうじょうじょうじょうじょう  
みちさん、おじいさんおじいさんおじいさん  
ほくも、おじいさんおじいさんおじいさん  
ねむくなつじょうじょうじょうじょうじょうじょうじょうじょうじょう

そのおじいさん、かみくみさんおじいさん、ほく  
にもたねてきました。ほくもねむかった  
けど、おじいさんおじいさんおじいさん  
て、おじいさんおじいさんおじいさん

それをみたおじいさんおじいさん、  
みんなほめてくれました。



## 小学生編

いなかのこ

お母さんが、「いなかのこさん、いなかのこさんがいなかのこさんです。」

わたしはまたなつとあそびました。いなかのこをひらきました。いなかのこはなつとあそびました。いなかのこはなつとあそびました。いなかのこはなつとあそびました。

いなかのこはなつとあそびました。いなかのこはなつとあそびました。いなかのこはなつとあそびました。いなかのこはなつとあそびました。いなかのこはなつとあそびました。いなかのこはなつとあそびました。いなかのこはなつとあそびました。いなかのこはなつとあそびました。いなかのこはなつとあそびました。いなかのこはなつとあそびました。



# 小学生毎

おつがよいのじやね

わたしは、おかめえがころんがじよんに  
ころんをたのしめていたらおじやが  
あそびに。あそびたいからおつがよ  
い。あそびたいが。あそびたいが。  
あそびたいが。あそびたいが。

「おつがよい」といわねえ、じよんね  
うじや。うじやがあたたかくなじませ。  
「おつがよい」がきいたって、もつがん  
はじがたへなごませ。  
「おつがよい」といって  
だじなうじやだなあ  
とおもいました。





## 小学生 毎

えがお

わたしが行くびょういんはいつもたくさんの方がならびます。わたしは早くかえりたいから1ばんにならびます。でもいすは3きやくしかありません。だからおじいちゃんやおばあちゃんがきたらいすをわたしに行きます。そうしたら、

おばあちゃんたちは、

「ごうごうありがとうございます。」

といて、わたすわっていらあ。

わたしもすわってくれ  
てうれしいです。みんな  
えがおにしたいです。

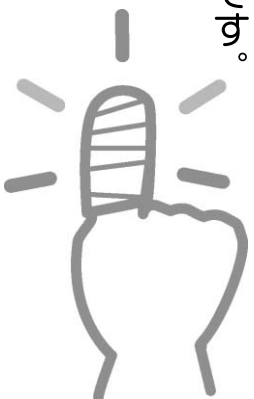


## 小学生

やさしい人

ぼくは、2年生の時、右手の指を骨折しました。治るまで指を曲げないように固定して包帯をまいていました。えん筆もはしも持てない、手を使えないってこんなに不自由なんだと実感しました。

そんな時、学校で友だちがぼくの左手を洗ってくれました。ふだん何てことない手洗いだけど、かた手が使えないばかりで、とてもたすかりました。ぼくも、相手の立場に立って考え行動できる人になりたいです。



## 小学生編

おばあちゃんのカレー

おばあちゃんが、だいたい二時間で、りょうりょうをつくっていました。ほくも、なにか手つだいをしようと思つて、らっしやに、にんじんと、じゃがいもと、玉ねぎのかわをむきました。

今日はカレーでした。おばあちゃんが、「今日のカレーは、いつもよりもおいしい気がするね。今日のカレーは、Kが、手つだってくれたから、いつもよりもおいしいね。」

ほくは、きょう、「日中おいてばかりいたことをわすれてしまおうらっしやねしかった。



## 小学生会

わたしのついで

ついで、下校のときじ、あつちをし  
いねるやうついでついで。

わたしは、そのおついでじ、よくは  
なしをします。わたしが、「花がすき。」と  
言ったら、いろんな花のたねをくれました。  
わたしでもわかるように、花の絵をつけ  
てくれました。

あるときは、じいの赤ちゃんをみせて  
くれました。やわしいおじいさんのおか  
げで、わたしは、下校が  
たのしみです。



## 小学生

おじいさんのたんごきり日記

ぼくのおじいさんは、この夏休み中に  
六ヶ月のたんごきり日記をむかえた。

ぼくは、六年前のじいさんをじいとおぼえ  
ている。おじいさんとおねえちゃんと  
おにいちゃん、びょういんに行った。  
すると、生まれたばかりのおじいさんが、  
ベビーベッドの中で元気がなくなっていた。  
まだ、ぼくの生後五ヶ月のころだった。  
かわいくなよ細かった。  
そのころ、おじいさんとおねえさんが、  
けんかしたからおねえさんがい  
てもかわいそう。生まれて  
おじいさんおじいさん。



## 小学生

妹は私のおうえんだん

私が、こえてーりん車のねんしゅじを  
している時、妹が「おねえちゃんがんばね。」  
とおうえんしてくれたよ。私は妹におう  
えんされてうれしくなったよ。だって、  
いつもすぐ、たおれてたからくやしかっ  
たけど、その日は妹におうえんされて私  
は「がんばらねえ。」よやねおがでたよ。でも、  
なかつたけど、やねおをたかいってたよ。  
またおうえんしてね。おうえんしてく  
れてあげがじい。



## 小学生編

お母さん、お父さんの話を聞いて

お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃんを大切に

してください。おじいちゃん、おばあちゃんを大切に

してください。おじいちゃん、おばあちゃんを大切に

「いただきます。」

お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃんを大切に

してください。おじいちゃん、おばあちゃんを大切に

いただきます。

「いただきます。」

お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃんを大切に

してください。おじいちゃん、おばあちゃんを大切に

いただきます。



# 小学生

あたたか  
妹  
温かい妹!!

わたしの妹はやさしやで、ごもおいっ  
てばかりいます。でも、けんかをして、  
わたしが、おこられてたら妹がいっしょ  
に手をつないで、「ごめんなさい」、「ごめん  
なさい。」とごいっしょにあやまって  
くれました。そしたら、二人が「ごめん  
なさい。」と言ったら「ごいっしょ」とお母  
さんがいっしょで、「お母さん、妹と  
わたしで、ほっぺをきゅっしゅっして、  
妹がやさしいな」と思  
いました。  
その日の夜、妹のほっ  
ぺをきゅっしゅっしました。





## 小学生

おばあちゃんが作ってくれた服

わたしのおばあちゃんの手みは、服を作ることです。きせつごととわたしの体にあった服を作ってくれます。わたしの好きなデザインやがらで作ってくれる服は、世界に一つしかない服なので、とても気に入ります。

学校へ着ていくと、みんながほめてくれて、そのたびにうれしい気持ちになります。

毎回、服を作ってくれるおばあちゃんに、かんしゃしています。



# 小学生

## 妹の話

わたしの妹は、3才になりました。

さい近まちよまじまいましまの言葉をしやべります。

その妹が「あじがとじ。「や」「めえね。」

と言いうとまわりの人がうれしくなります。

3才わさの妹いもうとがなんでもまねをするので、

わたしのしやべった言葉いひごもまねをします。

わるい言葉いひごもまねをするので「気きをつけ

ないと」と思おもいました。わたしがいい言いひ

葉はを言いうと妹いもうともまねするので、それでま

わりの人ひとを気持きもちちよくします。



## 小学生

ぼくのお父さん

ぼくのお父さんは、いつも仕事で朝早くに行き、夜おそくまで働いています。

夜おそいのでぼくはお父さんを見ないと  
きがあります。でも、お父さんはぼくの  
ねがおを見てくれていました。これを  
お母さんから聞いて、ぼくは温かい気持ち  
になりました。土日、お父さんが、

「つかれていただけねがおを見てすっき  
りしたぞ。」

と言った。

お父さん、いつも

遊んでくれてありが

と。



## 小学生篇

「大丈夫？」のまほう

お母さんが頭痛でソファに横になって  
いました。ぼくと妹は心配で、何度も  
「大丈夫？」と声をかけて、クッション  
や冷やしたタオルを持ってきてあげました。  
そしてしばらくすると、お母さんは起き  
上がって、「薬をのんでもなかなかよくな  
らなかったのに、二人に優しい言葉をか  
けてもらったらすぐに治ったよ。「と言っ  
てにっこりしました。ぼくは、「大丈夫？」  
という言葉は薬よりもき  
くまほうの言葉だなあと  
思いました。



## 小学生篇

ぼくの見つけたすいじい人

夏休み、お父さんとじみ出しに行った。

一週間の生じみは、重くてくさくて嫌  
だった。

じみ置き場について、はっとした。

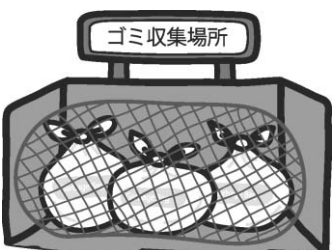
「じみはじみをよぶから…」

と、友達のお父さんが、くさるじみ置き  
場でじぼれていたじみをていねいにほこ  
っていた。

すいじい!!

ぼくの知らない所で、いろ  
んな人がぼくたちの生活をさ  
わえてくれている。ぼくも、

出来る事をみんなのためにやりたい。

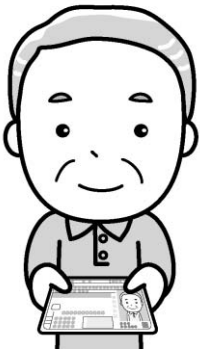


## 小学生會

### ドライブ

わたしには、八十五才はちごじゅうごさいになるひいおじ  
いちゃんがいます。ドライブが大だいすきな、  
ひいおじいちゃんです。でも、最近さいきんは  
お年としよりの交通事こうつうじこがふえていて、家族かぞく  
が話し合あった結果けっか、運転うんてんめんきよを返かえ  
しました。

家族かぞくや周りまわりの人ひとのために運転うんてんめんきよ  
を返かえした、ひいおじいちゃんがとっても  
すごいと思おもいました。今いまは、家族かぞくでさん  
歩あるのが楽たのしみになつています。



## 小学生

やさしく声をかけてもらった。

私は、一年生の時にきんちやうして泣いている時友達一人が「大丈夫」と声をかけてくれたり、「友達になる」と言葉をかけてくれて、その時はとてもうれしかったです。それとてもたすかりました。

私はその言葉に勇気をもって、最初の私みたいな子に「友達になる」という言葉や「いっしょに遊ぼう」という言葉をかけるようになることができました。そのおかげで、今はもうみんな私の友達です。



## 小学生

次につかう人のことを考えた自分

ぼくがトイレに行ったとき、スリッパの向きや、おいてある場所がぐちゃぐちゃになっていました。そのときぼくは、次につかう人のことを考えました。するとはきにくそうにしている人のことが思いうかびました。なので、次につかう人はきやすいようにするためにぼくはすべてのスリッパをそろえました。すると、とてもはきやすそうにしている人のことが思いうかびました。

そのときぼくは、いつも、すがすがしい気持ちになりました。





## 小学生

ぼくでも出来る事

ぼくの家いえの近ちかくの線路せんろにそつた道みちには  
草くさがいつぱいはえています。大きおおくなった  
草くさは、ぼくのせみじも大きおおくなっています。  
自転車じてんしゃの人ひとや歩あく人は、車くるまがくると草くさが  
あたつてあぶないです。おばあちゃんと  
草くさをかつていくと、ビールやジュースの  
缶かん、ペットボトル、おかしかしのふくろがいつ  
ぱい出てできました。

犬いぬをさん歩ほにつれてきた人ひとが

「きれいにしてくれてありがとう」  
と言いってくれました。  
うれしかったです。



## 小学生篇

### たん生日のプレゼント

私は、家族のだれかがたん生日の時に  
はいつも、手紙と折り紙のプレゼントを贈  
ります。

心をこめて、その人のことを考えなが  
ら作っているときも楽しいけれど、でき  
上がったプレゼントがどんな物になっ  
ても「あじがとじ」や「すいぐん」に  
んでくれるので、私もとってもうれし  
くなります。だから、これからも手紙と折  
り紙のプレゼントを  
贈り続けたいです。



## 小学生

おばあちゃんの右手みぎてになったわたし

夏休なつやすみに入いって、おばあちゃんおばあちゃんが右みぎ

ひじをだだつきゅきゅした。

料理りょうりを作る時ときも、そそうじじをする時ときも、

ごはんごはんを食たべる時ときも、使つかうのは右みぎ手てだ。

でも使つかえない。

わたしはたたくさんお手て伝だいだをした。お皿おひら

を洗あったり、そそうじじをししたり。

みんながわたしわたしの作つくった料理りょうりを食たべる時とき、

どどきどどききした。そそして料理りょうりがなくななった時とき、

ははじめじめて料理りょうりをつくる人ひと

の気き持もちが分わかった。



## 小学生篇

気持ちいい「あじがよい」

ぼくは、よく祖母の家へ野菜をもらいに行きます。持ち帰るなごぼくへねます。

「、、、来いねいあじがよいね。」

と、毎回、祖母は、帰りを見送ってくれ

ます。ありがとうと言っのは、ぼくの方

なことに不思議に思う祖母に言っ

「、に会えた事にあじがよいと言っ気持ち

いいです。おねえさまもねえねえ。」

と、祖母は言ってます。「あじがよい」の気

持ちに「あじがよい」

と答えたくありません。



## 小学生

### 視覚障害の方へのやさしさを

横たん歩道で信号待ちをしていると、

中学生べららの、男の子がやってきました。

その後、白いつえをついている視覚障害の方が歩いてきました。しばらくして、信号が青にかわった時、そばにいた男の子が、白いつえを持った視覚障害の方の肩をポンポンと軽くたたいて、「信号が青にかわりましたよ。」と、声をかけていました。その方はうれしそうに「あじがよい」と言っていました。私も男の子のように、やさしさを大事にしたいです。



## 小学生篇

### わたしの家族

わたしの家族は美容院を営業しています。

お客さんはいつも笑顔で帰っていきます。

私は、何でも思うと思いました。別の日に勉強していると、お店から話し声と笑い

声がたくさん聞こえてきます。私はど

うしてお客さんが笑顔で帰っていくのか

はつきりしました。それは家族のみんな

がお客さんに知らない人でも友達のように

お話ししてるからでした。

わたしは知らない人と話すのは苦手な

のでみんなみたいにしてや

べれる様になりました。

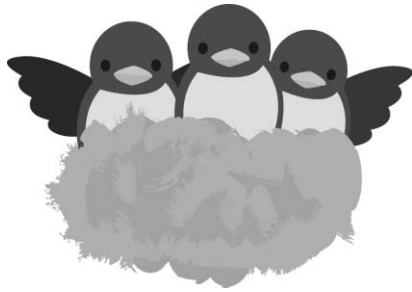


## 小学生電

すずめの巣があつたんだね

おじいちゃんが庭の木を切っていた。

一部分だけ切りおとさなかった。なぜだ  
ろうとたずねたら、すずめが巣をつくつ  
ていたのだった。すずめのために木を切  
りおとさなかった。なんだか心がほわっ  
とした。



## 小学生篇

### アゲハチョウの命

お母さんについて、公民館のそうじに行きました。外の手にて、アゲハチョウがさなぎになりそうな体せいに入って、口から糸を出して、がんばっていました。私はついみとねてしまい心の中で「ガンバシ。」と応えんしていました。でも、そうじに来ていたおばさんがほうきでころうとしていました。私はおもわず「そのままにしておいて下さい!!」と言いました。後日見に行くと、からだけになっっていました。ぶじに飛んでいったと思ひ、とても温かい気持ちになりました。





## 小学生會

あつれいせいね

自分が集場所まで行く道の中で  
おじいちゃんに会えます。それで、たく  
ちんあつれいせいねをします。最初は、「おはよ  
い」けれど、「おはよう」がしつこくまかせでした。  
それでも毎日あつれいせいねをすると、それに  
連れてあつれいせいねだけではなく、「勉強が  
なげいねえ」なども言ひてくたせられます。  
他にも、おじいちゃんはお花を育ててくる  
ので、お花の言葉を話してくたせられます。  
あつれいせいねのことで友達が  
できるというのを知った  
ので、学校でも年がたがります。



## 小学生篇

おはか参り

今年もおはか参りの季節がやって来ました。わたしは、家族と親せきとおばあちゃんといっしょにおじいちゃんのおはか参りに行きました。おはかに行く中は、坂がきついのでおばあちゃんの手をにぎってのぼるよ、

「あじがよい。」と笑顔で答えてくれました。暑い夏の時期でしたがおばあちゃんのお言葉で、すずしくなれたような気がして、その後のおはかのそつじでもがんばる事ができました。



## 小学生電

### ローソンの「エル」

ぼくは、7月5日(日)にいとこの家(いえ)に行き  
ました。「ロソビニ行(い)くよー」の声(こゑ)でみん  
な、車(くるま)に乗り(の)ました。ついたのは、ロー  
ソンでした。ローソンの「エル」の字(じ)の電(でん)気(き)が  
きえていました。なぜだ?と想(おも)って見(み)  
いると、つばめの巣(す)がありました。「「エル」の  
字(じ)が消(き)えていたのはつばめの巣(す)があるか  
らだよ」と言(い)うと、みんなかんしんして、  
「あー」といふ音が(な)まわりました。  
つばめのための想(おも)いやさ  
のこもったいい話(はなし)でした。



## 小学生篇

ヒントをくれた兄

ぼくは、漢字がとても苦手です。勉強の時に分からない漢字がありました。

その時に兄がヒントをくれました。そのヒントは、体で分からない漢字を作ってはげましてくれました。その時に兄が笑いを入れながらも、ぼくに、しっかり覚える事ができるように漢字を教えてくださいました。

ぼくは、それがとてもうれしかったです。

なので、これから、ぼくも、弟に教える事ができるようにしたいです。



## 小学生電

放送が聞こえない！

私は、感音性なんぢょうです。

いつも、朝の放送が聞こえなくて困って  
いました。その事を、帰りの会でみんな  
に伝えて家へ帰りました。その次の日の  
朝の放送の時、Hさんが「静かにして」と  
よびかけをしてくれたり、Mさんが、朝  
の放送が終わった後、何回も、「放送は聞  
こえた？」と心配をしてくれました。

すごくうれしくて、むねがじーんとし  
ました。



## 小学生篇

教室での「おかえり」と「ただいま」

私のクラスでは、だれかが教室以外の  
場所で委員会などの仕事をして教室にもどっ  
てきた時、みんなが「おかえり。」と言いま  
す。その言葉を聞くと私は「帰って来る場  
所はここだよ。」と言ってもらっているそ  
んな気持ちになり、あたたかい気持ちに  
なります。だから「ただいま。」と、自然に  
笑顔になります。

これは私のクラスではあ  
たり前だけど、すごくすて  
きなことだといつも感じます。  
こんならの2のあたたかさ  
が私は大好きです。



## 小学生書

「しづのありがとう」

小さいころ私は、お母さんに『お米一つ  
ぶには神様が七人いるんだよ』と聞いたこ  
とがあります。それ以来、私はお茶わん  
のごはんも一つぶも残さずに食べるよう  
にしています。

私には、七つ下に弟がいます。はしが  
まだ上手に使えなくて、お茶わんにたく  
さんごはんが残ってしまいます。私が弟  
に神様の話をしました。そしたら弟は、  
「神様！神様！」

と、一つぶ残さずごはんを  
食べてくれました。



## 小学生篇

わたしのやさしい家族

わたしは、よく三人で歩いて買い物に行きます。歩きながら、小学校の楽しい話や、お兄ちゃんの話、おいしいパンやアイスクリームの話します。

お肉屋さん、八百屋さん、お豆腐屋さんまで行くと荷物がいっぱいになります。

そんな時、お母さんとお兄ちゃんは、わたしに軽いふくろを持たせてくれます。

わたしも、お年よりや、困っている人には、家族がしてくれていぬちいさなわてがまです。





# 小学生

## 小学六年生のヒーロー

私の弟は双子で一才位の時にお母さんが二人をベビーカーに乗せて散歩に出かけたそうです。と中長い階段を下る道に出ました。でも二人を抱っこすると、ベビーカーが運べないので困っていました。すると、小学六年生位の女の子が通りかかり、さっと手を伸ばしてベビーカーを運んでくれたそうです。

弟は現在六才で手を引いて歩けます。

お母さんは散歩で階段の道に出ると今でも親切な女の子のことを思い出し、心が温かくなるといいます。



## 小学生篇

お父さんありがとう

私のお父さんは最近出ちようで、家には一週間に二日位しか帰ってきません。毎日お父さんとあいわしが出ないの、朝と夜にお父さんのいる場所を向いて、あいわしよ、一日のお願いとお礼をして、お仕事してくれている事のお礼をします。お父さんには、聞いていらないと思っけれど、なぜか気持ちがよくなります。お父さんにその事を伝えるんですけども喜んでくれて、私も心が温かくなりました。これからも、その心を忘ねずに感しゃの気持ちをお父さんに伝えていきたくと思いました。



## 小学生

### 勇気を出した行動

ある日の学校の昼休みのことです。友達としゃべっていたら、日本語があまりしゃべれない男の子が、給食の配ぜんの後かたづけに困っていました。私はその時、言葉が通じないかもしれないし、どうしようかと迷っていました。でも、やっぱり気になったので、勇気を出して、その子のそばに行って、身ぶり手ぶりで教えてあげました。次の日から男の子はもうくりだけど、ひとりでもきめるようになって、あの時は、勇気を出して、声をかけてよかったなあと思いました。私は、とてもうれしい気持ちになりました。



## 小学生篇

### 地域として大切なこと

私は、よく登下校で見かける、近所の  
人にあいさつをし、少し親しくなりました。

今日の下校でも見かけたので「こんにちはー！」とあいさつをしました。そうしたら、

「お帰り。野菜あげるわ。」と声をかけ、  
いんげんまめ、新玉ねぎ、シタスやたら  
の芽などしゅうかくされたての野菜をた  
くさんいただきました。お礼を言つて、  
家に帰って本を読んでいると、「昔は、近  
所⇨親せきでした。」という文があり、「今  
もこうだ。」と思いました。



## 小学生

仲間の応援が自分をつくり、  
自分を育てる

私には、たくさん応援してくれる人が  
います。テニスをしている時、暑くてつ  
らい時や苦しい時に応援してもらって、  
うれしくてがんばろうと思えるようにな  
ります。そういった人がたくさんいるから、  
私は、少しずつ「あと少し、もう少し」と  
あきらめない自分になりました。仲間の  
応援は、自分をつくり、自分を育ててい  
ると思います。今まで私をつくり、育て  
てくれた人たちに感謝を  
し、私もがんばっている  
人たちに応援していきま  
いす。



## 小学生篇

### 勇気を出せば

僕が学校から帰ってへる途中の道には、  
落ち葉拾いをしてくれているお年寄りの  
おばあちゃんがあります。普段、あいさつ  
はするのですが、一度も笑顔になつてく  
れません。だから、この前笑顔になつて  
ほしくて、勇気を出して、「お疲れ様です。  
いつもありがとうございます。」と言って  
みました。すると、普段笑顔を見せない  
おばあちゃんが頬をゆるませて、会釈し  
てくれました。勇気を出せば、みんな幸  
せになれるんだと  
思いました。



# 小学生

## 友達

私が五年生の時、ある子と私がけんかを  
をしてしまいました。そんな時に友達が、  
「話聞こうか?」「どうしたの、大丈夫?」  
とやさしく声をかけてくれて私の話を、  
聞いてくれました。友達に話すまでは、  
自分は悪くないと思っていたけど、私も  
悪い所あったんだと、友達が気づかせ  
てくれました。けんかをして仲直りでき  
たのは、友達が、私の悪い所を気づかせ  
てくれたからだと  
思います。



## 小学生篇

### 優しい心

ぼくは、おばあちゃんの家に行くためにバスに乗りました。するとおじいさんがのってきました。ですが席は満員で座ることができませんでした。ぼくは席をゆずろうと思ったのですが、はずかしくできませんでした。すると、スーツ姿の人は、席をゆずってあげていました。

ぼくは、席をゆずってあげられなかった自分がはずかしくなりました。優しい心は優しただけじゃなく、勇気も必要なんだなと思いました。





## 小学生

その一言を思い出して前向きな私に

「ああ、せつかくはりきってやったのに、失敗しちゃった。」「卵焼きを一人で作ってみた私ですが、あせってしまいました。そしてその悲しみのせいでなみだを落としたのです。その時、お父さんが「とてもおいしそうなおいがしてくるよ。みためはダメかも思っても、心をこめて作れば、何でもおいしくなるはずだよ。」「と。」「言い、私は、はっとしました。一生懸命取り組み、成功した内に入るはず!!とお父さんのあの一言で立ち直れました。」



## 小学生篇

### 時間よりも大切な事

ある日ぼくは、車に乗り信号待ちをしていた。すると、近くのバス停にバスがとまり、多くの人が乗りこんでいた。その後ろから、足の不自由な人が足をひきずり必死に歩いてきた。運転手はその人が乗るまで待っていた。しかし、よく見ると乗車口に片足だけ昇り、手を広げている人が来るのを待っている大学生の姿が目に見え飛び込んできた。時間を気にする世の中で、何が大切かをみんなで通じ合っていた心温まるひとときだった。



## 小学生

幸せになった野良猫 はな

ある日私の家の前の道路に一匹の子猫がまわりをさまよっていました。その子猫を見つけた私は、気が気でなく子猫を拾いました。でも、私の家には前から飼っている猫がいました。なので近所の子と協力してご飯をあげたりして育てあげました。大人にも協力してもらって里親も探しました。そして、私のお母さんが探してくれて仕事の人が飼ってくれることになりました。私は、この小さな命を救うことができましたよかったです。



## 小学生

看護師さん、ありがとう

ぼくが、応援団長と剣道の大将の役割を  
持っていた時だった。ぼくのうでは手術  
が必要なほど悪くなってしまった。不安  
とあせり、お腹の辺りがずっと苦しかった。  
そんな時、看護師さんが「めいわくかけ  
てもいいんだよ。まず自分をしっかり治  
そう。そして元気になったら、今度はそ  
の分お返しすればいいんだからー」ぼく  
は「の一言で胸をなぐさめた」。

はげましてくれた看護師さん、

「ありがとう」。



## 小学生

### 小学校生活最後のピアノの発表会

演奏の順番を待っていた私の手は、緊張のせいで冷たくなり指が震えていました。

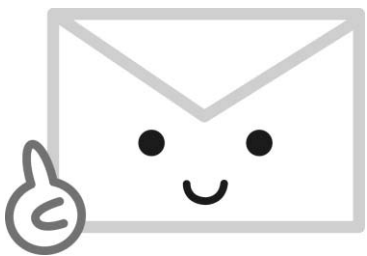
そんな時、Aちゃんが「頑張ってる。手冷たいでしょ。手握ろ!」と、私の手をギュッと力強く握ってくれました。その瞬間、緊張が落ち着いて手も温かくなりました。そして本番。握手のおかげで満足の演奏ができ、改めて友達の支えの強さと大切さを感じ心の奥まで温かくなりました。今度は、私が友達を支えられるように友達を大切にしていきたいです。



## 小学生篇

待<sup>ま</sup>つてくれている仲<sup>なか</sup>間<sup>ま</sup>

私<sup>わたし</sup>は、一<sup>いち</sup>学<sup>がく</sup>期<sup>き</sup>の最<sup>さい</sup>終<sup>しゅう</sup>日<sup>び</sup>、熱<sup>ねつ</sup>を出<sup>だ</sup>して学<sup>がく</sup>校<sup>こう</sup>へ行<sup>い</sup>きませんでした。仲<sup>なか</sup>間<sup>ま</sup>にも会<sup>あ</sup>えず、夏<sup>なつ</sup>休<sup>ひ</sup>みに入<sup>い</sup>り、と<sup>と</sup>もさみしい思<sup>おも</sup>いをし<sup>し</sup>ました。母<sup>はは</sup>が学<sup>がく</sup>校<sup>こう</sup>へ荷<sup>に</sup>物<sup>ぶつ</sup>を取<sup>と</sup>りに行<sup>い</sup>くと、先<sup>せん</sup>生<sup>せい</sup>より班<sup>はん</sup>の子<sup>こ</sup>からも<sup>も</sup>らった手<sup>て</sup>紙<sup>がみ</sup>を渡<sup>わた</sup>さ<sup>さ</sup>れました。その内<sup>うち</sup>容<sup>よう</sup>は、『S<sup>ス</sup>さん<sup>さん</sup>の良<sup>よ</sup>さ』  
とい<sup>い</sup>う書<sup>か</sup>き出<sup>だ</sup>しで、「いつも予<sup>よ</sup>定<sup>てい</sup>の呼<sup>よ</sup>びか<sup>か</sup>  
けをし<sup>し</sup>てい<sup>い</sup>てい<sup>い</sup>ね。」な<sup>な</sup>ど、心<sup>こゝろ</sup>が温<sup>あたた</sup>まる  
メ<sup>メ</sup>ッセ<sup>ッ</sup>ージ<sup>ジ</sup>が書<sup>か</sup>いてあ<sup>あ</sup>りま<sup>ま</sup>した。私<sup>わたし</sup>はう  
れしくな<sup>な</sup>り、早<sup>はや</sup>くみ<sup>み</sup>んなに  
会<sup>あ</sup>いたく<sup>く</sup>な<sup>な</sup>りました。登<sup>と</sup>校<sup>こう</sup>  
日<sup>び</sup>が楽<sup>たの</sup>しみ<sup>み</sup>だ<sup>だ</sup>な!!



## 中学生

あじわいよなす

いつもの帰り道、

「ただいま。」

大きな声であじわいよなすする私に、「おぼんが、

「本当はいつも元気やね。元気をありが

とじ。」

とニコニコ笑って畑のなすびをポンと私

にくねました。

いつものあじわいよなすがなすびになつてかえつ

てきました。夕食で食べるいつものなす

びは、笑顔であじわいのじまったなすびで、

格別に美味しかったです。



# 中学生

## 元気をくれた言葉

私が学校へ行く時、通学路のまわりに、  
畑仕事をしている方がいます。畑の前を  
通ると、「おはよう。こんばんは。ごうごう。」  
と言っています。

自転車で畑の前を通るのは一瞬で、言  
われる言葉も少しです。でも、その少  
の言葉に、今日も頑張ろうと思えるし、  
心の中が温かく、ホッとした気持ちにな  
ります。

だから私も、毎日元気  
なあいさつをし、周りの  
人に元気をあげられる人  
になりたいです。





## 中学生

利用する人の気持ちを考えて！

私は、近所の三角公園で小学校の頃、毎日のように遊んでいました。久しぶりに公園の様子を見ると、ゴミがすこく落ちていて、タバコの吸殻など落ちていました。この公園は、小さい子がたくさん遊んでいるので危険だと思いました。その日遊ぶ約束していた子に公園の様子を説明して、手袋と袋を持って、ゴミを全て集めに行きました。ゴミの入った袋は、家に持って帰り処理をしました。利用する人の気持ちを考えて、行動出来てよかった。



## 中学生

失敗した時こそ笑顔で…

この言葉は、習い事の先生が、雰囲気が悪くなった私達にかけてくださった言葉です。

私達は、何か失敗をしてしまうと、すぐ暗い顔になってしまっていました。でも、この言葉を聞いて、「暗い顔ではだめだ」と思い直すことで一気に明るい雰囲気になりました。

笑顔は魔法。私はそう思っています。皆さんも、落ち込んでしまった時は、思い切り笑顔を作ってみてはどうでしょうか。



## 中学生

何気ない気遣い

大会や授業参観が近くなると、「来ないでね。」と親に言ってしまう。単に恥ずかしいからだ。でも、成長した姿を見るときを親は楽しみにしているかもしれない。私だって素直になってみれば大好きな親に成長した姿を見てほしい。何気なく発する言葉だが、どこかで親を悲しませているのではないか、と思う。「見に来てね!!」と少し気持ちや言葉を変えるだけで親の心も自分の心も温かくなる。小さいことだけれど、とても大切なことだ。



## 中学生

頑張ります

私は「頑張つて」と言われることがよくあります。普段ならただただうれしいのですが、頑張りがなくなるときには言われる、少し気分が下がります。この前、私の気分を察してくれた友達が

「いつも頑張ってるね。」

と言ってくれました。少し言葉が変わっただけなのに、いつもの数倍うれしくなりました。言葉の偉大さと元気をくれたその友達に、私は感謝しています。今日も頑張ります。



## 中学生

誰かのために

私の通学路には、二人の落ち葉掃除をして下さっている方がいます。ある日二人の話している話題が聞こえてきました。いつものように掃除している最中の話で、「子ども達が安全に登下校できるように」「朝から頑張ってもらえる様に僕達ができること」と言っていました。私はこの話を聞いてとてもうれしくなりました。また、私は登下校ですら誰かに助けられていると自覚できたので次は私は誰かを思った行動ができるようにしたいです。



## 中学生

### 弟の一言

私には弟がいます。弟は今育ち盛りで人の言う事を全く聞かずいつも周りをイライラさせています。そんな弟がある日「お姉ちゃんは一番何が怖い？」と聞いてきました。私はその時勉強していたので「テスト。」と答えました。しかし弟は「家族がいなくなる事が怖い。」と答えました。いくら生意気でも家族がお互いを大切に思っている事が分かり弟の優しさに触れたと共に弟の一言から家族の大切さを感じ、なんだか心がほっこりしました。



## 中学生

### 涙の意味

県大会で一位をのがし、号泣する部員  
に対し、「一生懸命と取り組んできたから」  
そ、くやしさがこみあげてくる。だから、  
号泣することは決して恥ずかしいことでは  
ないよ。」と声がかげられました。悔し  
いという気持ちをストレートに表現でき  
る友人はすばらしいと思います。涙を流  
すことで心の中を浄化し、新たな目標に  
向かっていくこと、そうやって私達は成  
長し、いつかくやし  
涙がうれし涙に変わる  
時が来るのだと思  
います。



## 中学生

見守ってくれる人

毎朝、自動車の通りが多い道で安全  
サポーターのおじいさんに会います。い  
つも私のことを気にかけて、「おはよう。  
とあいさつをしてくれます。前に、私の  
体調が悪く、自動車で登校していた期間  
がありました。久しぶりに自分で登校をし  
おじいさんに会ったとき「最近見かけな  
いけど大丈夫？」と声をかけてくれました。  
私のことをしっかり見ていてくれている  
とわかり、とてもうれしい気持ちになり  
ました。





## 中学生

### 電車で

私が十二才の夏。電車で親戚の家へ向かっている時、ある駅で一人の男の人と女の子が乗ってきた。よく見ると男の人は足が不自由らしく杖で体を支えており、私も少し小さい女の子は荷物を沢山抱えていた。いくつか駅を過ぎた後、「ありがとう。」「いえ、大丈夫です。」と会話し、男の人は荷物を受け取り、降りて行った。私はその時、「親子では無く、知らない人だったんだ。」と、女の子の優しさと勇氣ある行動に、心の中で拍手していた。



## 中学生

ちよつとした心遣い

夏休みのある日、僕はコンビニに行きました。僕は商品を持ちながらレジに並んでいると、ふとドアの方に目がいきました。そこにはドアを開けて立っている男の人がいました。何をしているのか気になって見ているとその男の人は足の悪い老人のためにドアを開けていました。僕はこのような光景が増えるといいなと思います。その人を見習って僕もそういう行動ができるようになりたいと思いました。



## 高校生

ひいおばあちゃんの笑顔

僕のひいおじいちゃんはクーラーの風が嫌いな人でした。家族は「熱中症にならないのかなあ？大丈夫かなあ？」とずっと心配していました。ひいおじいちゃんが亡くなってしばらくしてから、僕は「ひいおばあちゃんの部屋にエアコンを付けようよ。」と提案しました。部屋にエアコンが付くとひいおばあちゃんが嬉しそうにニコニコしていました。そんなひいおばあちゃんの顔を見て僕もなんだか嬉しくなりました。



# 高校生

## 日本一のチーム

今年の卓球の大会で優勝しました。試合が終わって戦った仲間と応援席に戻るとチームの仲間が拍手で出迎えてくれました。

この拍手は、優勝したことに對してだけでなく一緒に戦った仲間に対する拍手でもありました。

心が温かくなりました。

僕は、もっとこの日本一のチームでがんばりたいです。そして、勝っても負けてもチームの仲間を同じように出迎えます。



## 高校生

いつもの帰り道

学校の帰り道、僕はいつも通り電車に乗っていました。周りを見るとまだ幼い赤ちゃんと母親が僕の左に座っていました。その赤ちゃんは僕の方を向き、「ニコニコ」笑っていて自然と僕も笑顔になりました。反対側にいた女子高生たちも、その赤ちゃんを見てにっこり笑い楽しそうでした。

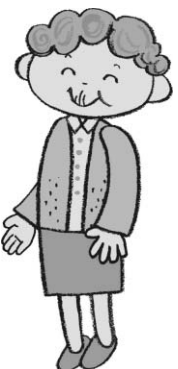
笑顔は、周囲の人と人をつなぎ、とても幸せな気持ちにしてくれます。今日の帰りの電車で、偶然会えたら笑顔の輪が広がりますね。



## 高校生

### せわごとの連鎖

学校に行く前に尋ねるロンビニード、私は  
らっぴのちんぷんを手にとってレジ入行  
と並んでいました。そしたら私の後ろに  
一人のおばあさんが並びました。そのお  
ばあさんは買う物も少なかったので前に  
ゆわんやゆわん、「よしんよ。」と言った。  
そしたらおばあさんはなぜこく笑って  
「あじがよい。」と言いつつわねました。その  
「あじがよい。」とこの言葉が今でも胸に  
残っています。そして、また「ゆわんよ。」  
という気持ちになりました。



## 高校生

いつか

私が先日学校で内科検診をした時、最初はすぐに心音をはかして終わりだと思っていたのですが、意外にも先生は話しかけてきました。私は、最初は話しかけられて戸惑っていたのですが、先生は話の中でこう言っておさいました。「本を読んでいる人はいろんな力があるからいつかつくと世渡りが上手くなるよ。」と。それを聞いて今不登校で辛い思いをしているけれど、いつか人生がちよつとでも楽になるのを楽しみに頑張ろうと思いました。



# 高校生

## 受験生

中学三年生。誰もが通るであろう受験。

僕は中学でまったく勉強をしていなかった。

親は勉強しなくて大丈夫と言ってきた。

だけど僕は、声を張りうるさいと言っ

てしまった。心の中でモヤモヤし続けていた。

あんのじよう第一希望の高校に落ちた。

とても悔しくて、勉強づけの夜を過ごした。

部屋の前には僕の大好きなカレーと手紙

が置いてあった。手紙には、がんばれ、

応援してとある一言。

その言葉のおかげでがん

ばれたよ。





## 高校生

気付けた優しさ

私は中学生時代に怪我をして入院をしていました。退院した後の学校生活に不安を感じながら松葉杖で学校へ行きました。案の定クラスのみんなよりも行動が遅く学校が嫌になりました。でも、そんな悩みはすぐ晴れました。荷物を持っていたら笑顔でこちらに来た女子が持つてくれて階段を下りる時は男子がさりげなく見守ってくれました。普段は見せないクラスメイトの優しさを知れて、差し出してくれた温かい手が私はとても大好きです。



## 高校生

半分に切られたハンバーガー

私と祖母が外食をしたときの話です。

祖母はハンバーガーが好きなのでお店で注文しました。しかし、この頃の祖母は食べることが上手くできなくなってきたので心配していたところ、店員さんが、祖母のハンバーガーを半分に切って持ってきてくださったのです。店員さんの温かい気配りのおかげで祖母は安心して食事を取ることができました。相手のことを思っていて行動できる店員さんはすごく思いやりのある方だと思いました。



## 高校生

### 学校帰りの出来事

学校帰りに、友達とおしゃべりをしながら帰っていたら、道で小学生の女の子が転んでケガをしていました。私は、絆創膏をもっていたので、貼ってあげました。すると、女の子が走って行ってしまったので、あっ…行っちゃった…と思っていたら、走って私のほうに戻ってきて、「あじがとじー」

と言って、お花を2つくれました。私は嬉しくて、心がとじもほっぴじじしました。



## 高校生

ちよひと良ひの日

ある日妹が、手紙を書いてくれた。

妹は毎年、私の誕生日に手紙を書いていつも  
そり渡してくれる。でもその日は私の誕生日  
ではなくて、なんでもない日だった。

その手紙には、「お姉ちゃんいつもありがとう。  
毎日お勉強がんばってすごだね。  
お姉ちゃんみたいになりたいなあ。」と  
書かれていた。妹が自分のことをそんな  
風に思ってくれたのを知って、嬉しくなっ  
た。なんでもない日が、妹の手紙で、ちよひ  
と良い日になった。



## 高校生

### 思いやりの心も世界共通

ある雨の日、私は友達と遊ぶ約束をしていました。電車で行こうとしていたので駅で電車を待っていたら、急に雨が降ってきました。駅とホームは少しはなれていたので、「傘もないし、最悪だな。」と思っていると、私の前にいた外国人の方が私に気づき「Come here」と持っていた傘の反対側をあげてくださいました。国は違っても、思いやりの心は国を超えてあることに嬉しく思いました。私もさりげない思いやりができる人になりたいです。

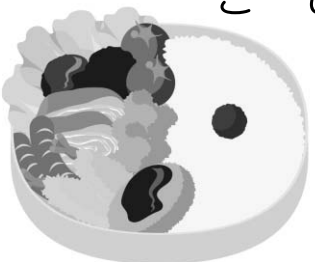


## 高校生

### お父さんのお弁当

その日は母の体調が悪く、弁当は父の担当になった。父は洗々台所に立ち、ぶつくさ言いながらおかずを詰めていた。

私は早く家を出たくて急いでいたので、無言で弁当をぱつと取り、家を出た。昼、弁当を広げると、私が好きな卵焼きが入っていたが、いつもと違う。凄く黄色が濃くて、母のふわふわのとは全く正反对で、固くてギョウウツと詰まっていた。笑ってしまった。お父さんの一味も二味も違うお弁当は、けっこう面白い。



## 高校生

嬉しい、美味しい、ありがとう

高校入試当日。私は自分の力を出しきるうと張り切っていました。しかし、午前のテストは思うように解けず、不安でいっぱいになってしまいました。重い気持ちのまま昼食の時間になり、お弁当箱をあけると蓋の裏にメモが貼ってあるのを見つけました。そこには『あとちゅっただから頑張れ。応援してるよ。』と母からのメッセージが書かれていました。そのおかげで午後からのテストでは力を出しきることができ、志望校に合格できました。



## 高校生

あつわしで伝える

「おはよう。」「おかえり。」「みどりのおじさんは、私が小学生だった時いつもあいさつをしてくれた。嫌なことがあっても、きげんな顔をしていても、毎日変わらずに笑顔を見せてくれていた。小学生だった私は、それが当たり前なんだ、向こうからあいさつをするのが普通なんだと思っていた。でも今は違う。私はもう高校生だ。小学生の時みどりのおじさんが毎日してくれたあいさつを、今度は自分からして頂く。」





## 高校生

おばあちゃん

去年の秋、祖母と紅葉を見に行きました。決して大きな場所ではありません。私が今まで見た紅葉と比べると立派なものではありませんでした。しかし、祖母の歩幅に合わせてゆっくりと歩きました。祖母は「綺麗だ。来れてよかった。」と幸せそうでした。私もいつして祖母と来れたことが幸せでした。とても美しく見えました。来年は私の運転で見に行こうね。



雨のホームで

急な雨はホーム迄濡らしていた。電車を待つ間濡れたベンチをあきらめ立っていると座っていた青年と目が合った。すると彼は素手で隣のベンチを拭くと「どうぞ」と云う様に小さく微笑んだ。私は彼の思いがけない行動に礼を云い濡れた手にティッシュを渡しながら座った。彼は問わず語りこ

「僕、今日入学試験だったんです。」

「そう、上手くいった？あなたの様な優しい人はきつと大丈夫よ。」

「あーっ余計な事を云ってしまったー」

折から入って来た電車に気

恥ずかしさから彼とは違うドアから乗り

込んだ私の胸は温かさで一杯でした。



じゃんけんグー

今日も、娘とはあちゃんのじゃんけん  
対決が始まった。「じゃんけん グー」「あ  
いっだね。」「あーいっべっよ。」「ばあちゃん  
はグーで、娘は、パーを出して勝った。

いつも2回目で負けてしまえばあちゃんに、  
娘は「右手も使えばいいよ。右手で左手  
の五本の指を少しずつ広げたらパーにな  
るよ。」「と言う。これを聞いた老人ホーム  
の職員の方から、「娘さんはばあちゃんの  
リハビリの先生だね。」「と声をかけられ、  
娘はにっこり笑った。



ある朝の出来事

新一年生が入学して少したった五月のある朝。校門を入ったすぐのところ、一年生の女の子が号泣していた。どうしたのかなと思えば、登校班の仲間たちが一生懸命声をかけていた。ある女の子は、かばんを持ってあげ、ある女の子は「おんぶしようか?」「ある女の子は、優しく」「一歩ぐらいから歩いてみよう。」「学校は楽しいよ!」と声をかけていた。上級生の子のとても優しい姿を見て、朝からとても心が温かくなった。



令和元年度 ちよつといい話

令和元年12月発行

編集 岐阜県環境生活部 人権施策推進課

〒500-8570

岐阜県岐阜市藪田南二丁目一

TEL 〇五八―二七二―八二五〇（直通）

FAX 〇五八―二七八―二六一五



人権ミナモ

岐阜県環境生活部 人権施策推進課

※この冊子は、法務省委託事業により作成されています。

